



Nagoya GRAMPUS

名古屋グランパス ワイズメンズ クラブ

NAGOYA YMCA5-2 KAMIMAEZU2 NAKAKU NAGOYA 460 JAPAN

国際会長標語	“Be Y' smen in Deed not Y' smen in Need” [求めるワイズから 行動するワイズへ]
7777会長標語	“Lead by your own Action” [行動するリーダーになろう]
西日本区理事標語	“Go Forward with Love and Courage” [すすめ、愛と勇気をもって]
中部部長標語	“Think Together Act Together” [共に考え 共に行動]
クラブ会長標語	“Lets move for future of the Earth !!” [地球の未来のために行動しよう]

2006年1月号

— <今月の聖句> —

恐れることはない、わたしはあなたと共にいる神。たじろぐな、わたしはあなたの神。勢いを与えてあなたを助け
わたしの救いの右の手であなたを支える。 イザヤ書 41章10節

グランパスホームページ <http://www5.ocn.ne.jp/~ysmen/>

2006年1月例会ご案内

◎ 第一例会 (新年合同例会)

と き : 1月20日 (金)
 ところ : マリエカリヨン NAGOYA
 時 間 : 18:30~ (受付 18:00)
 内 容 : 名古屋地区5クラブ合同例会
 ホストクラブ 名古屋東海クラブ

第一部 講演

「旅と産業観光」

JR 東海相談役 須田 寛 氏

第二部 懇親パーティー

会費 : 3,500 円

お友達や将来ワイズ候補者をお誘いください

◎ 第二例会

と き : 1月19日 (木)
 ところ : 名古屋YMCA
 時 間 : 19:00~

◎ 爺ヶ岳ファミリースキー

と き : 1月7日 (土) 8日 (日)
 ところ : 爺ヶ岳スキー場

12 月 例 会	例 会 出 席 状 況				B Fポイント		クラブファンド (12月)	
	在 席 者	16名	第 1 例 会	名	当 月・切 手		ニコBOXノート	
	例会出席者	名	第 2 例 会	名	当 月・現 金		感 謝 フォンド	
	当月出席率	%	部 会 他	名	累 計		累 計	

“TO ACKNOWLEDGE THE DUTY THAT ACCOMPANIES EVERY RIGHT”
 =強い義務感を持つ。義務はすべての権利を伴う=

第一例会報告

クリスマス特別例会

開催月日 : 12月3日(土) 14:00~
場 所 : 名古屋中央教会

出席者 : 早川(メネット+コメット他)、徳田、吉田(正)(メネット)、佐藤(メネット+コメット)、坂倉(メネット+コメット)、服部(メネット+コメット)、阿部(コメット)、松原(コメット)、三井、荒川(メネット)、坂野(メネット+コメット)、坂口、ゲスト多数



今年のクリスマス例会は吉田兄のしつらえにより、例年とは違った中央教会での手づくり感あふれる、クリスマス例会となりました。クリスマス例会の最初は礼拝堂で行われ、牧師さんからのクリスマスにちなんだ説教も良いものでした。



礼拝の後は皆が楽しみにしていた食事です。でも、クリスマス直前に亡くなった加藤元Y'sのメモリアルアワー。私は亡くなる二週間前に会社で加藤氏に会っていて、亡くなった話を聞いて、大変残念な気持ちになったのと、驚きで一杯でした。心よりご冥福をお祈り申し上げます。

さて、メモリアルアワーの後は皆が楽しみにしていた会食です。いつもの例会とは違い、家庭的な手づくりの料理で美味しく頂きました！私の娘がサンタクロースに会うのを楽しみにしていたので、会食後に楽しそうにしているのを見ると、手づくり感

のある会場や食事もいいなあ～と感じました。

準備をして頂いた吉田兄、ケーキを作って下さった服部メネット、サンタをして頂いた高田兄、ありがとうございました。

そして楽しい時間をすごかせて頂いた皆さんに感謝致します！

阿部 一雄



ファミリークリスマス例会

05年12月3日 今年の12月は思いのほか寒さが早く、今にもちらほら降りそうな空模様です。吉田正兄のもと、名古屋中央教会にて午後2:00より、礼拝堂にて神父さんのクリスマスの礼拝が厳かに始まりました。

今年のプログラムは吉田正兄、佐藤兄のプログラムです。クリスマスの意義が少し希薄になっているのでこの様な企画は大変有意義なことです。名古屋の中心部とは思えないほど 静寂なひとときでした。子供たちも何時もと違う雰囲気になんて静かにしていますまたキャンドルの光が参加者の顔をあたたく照らしていました。パイプオルガンの演奏で賛美歌を歌い、クリスマスが迎えられたと思いました。



今年は高田さんのサンタでした

第2部は場所を1階に移動して和気あいあいとした食事です。アルコールも入り楽しく過ごすことが出来ました。子供にはサンタクロースがプレゼントを渡して、また服部メネットがクリスマスのデコレーション教室が開かれ、子供も大人もケーキ造りに参加し美味しく頂きました。

今年のプログラムの企画をした吉田正兄・佐藤兄・名古屋中央教会に感謝します。

早川 政人



○クリスマス例会の様子は、下記の中部ホームページにも掲載中

<http://www.ys-chubu.jp/main/05grxmas/05xmas.htm>

第二例会報告

グランパス忘年会

日 時:12月15日(木)19:00~

場 所:魚々味さん

出席者:早川、坂口、服部、坂倉、徳田、荒川、坂野、吉田(正)、松原、佐藤、三井
ゲスト、南里道子、吉田えまこ

年の瀬も迫った12月15日、今年のグランパス忘年会は準会員とも言えるトミさんの奥部屋貸切での忘年会でした。2005年もあとわずか、平穏であった者、波乱に満ちた者、順風満帆であった者、それぞれ胸に秘めながらワイズ活動を振り返りました。トミさん自家製タレの鮫鯉鍋に舌鼓を打ちながら、美味しいお酒も進みました。志を同じくするよき仲間として



<http://www.ys-chubu.jp/main/05grxmas/05aisatu.htm>

SO愛知創立5周年祝賀会

スペシャルオリンピックス日本・愛知地区組織設立5周年記念パーティー

12月17日(土)ローズコートホテルにて2000年10月に設立されたSON愛知5周年記念パーティーが約300名の出席者の中、盛大かつ楽しく開催されました。

設立以来活動、賛助会員として支えてきたグランパスワイズからは早川会長、荒川君、吉田君の3名が出席しました。SOの活動らしくボランティアと

アスリートが司会を担当し進行し、井形会長の感謝の挨拶、SON細川理事長のビデオ挨拶、5年間の活動紹介の後、美味しく食事をいただきました。



この間、早川会長、荒川君はアスリート達と会話を楽しみました。特に荒川君はスキー指導したことのあるアスリートを見つけ(本人は覚えているかどうか疑問でしたが)話をしていました。また、SOの役員各位からは支援団体として、YMCAチャリティーラン参加支援などグランパスワイズへ感謝の言葉が多く寄せられました。



ボランティアによるコーラス(全員ロータリアン)、楽器演奏、みんなで歌おう等盛りたくさんの催しが続くなかアスリートは疲れも見せず最後までパーティーを楽しんでいました。SON愛知は設立当初水泳、サッカーの2競技から現在では8競技へ、夏季・冬季2回のナショナルゲーム(全国大会)出場、そしてこの2月には世界大会へ4競技4名のアスリートを日本選手団派遣と確実に発展してきました。

今後は活動地域や競技を拡大し愛知全域にSO運動を目指すとのこと、グランパスワイズとしても力は小さくても長く支援を継続することの必要性を感じた記念パーティーであった。

吉田 正



クリスマスキャロル in タワーズライツ



今年で2回目の参加になりました。昨年に引き続き長男の大輝と次男の央輝と3人の参加と今年は央輝の友達2名と5名の参加となりました。

11月の終わりから週1回の橋爪先生による練習が名古屋中央教会ではじまり、着々とYMCAでも準備が進められました。

当日運営のお手伝いより『出演したほうが楽しめる』と考え、他人の迷惑かえりみずの参加です。しかも今年は仕事が忙しく？練習も2回しか参加できませんでした。

当日は雨でも雪でも中止とのことでした。

今年は数日前にまさかの大雪。当日は大丈夫かな？と心配でした。せつかくの練習と準備が無駄に終わってしまう～。



12月23日は寒くなりましたが、無事クリスマスキャロル IN タワーズナイトがおこなわれ、テレビ局や新聞社が取材に来ていました。私は今回最前列で歌を歌ったので写真もテレビのニュースでもバッチリ写っていました。ちょっとしたスターかな？



おまけに央輝の中学校の担任の先生が、わざわざ見に来てくださり、びっくりしました。当日の運営に携わってくれたスタッフ・ワイズの方々寒い中ありがとうございました。

グランパスの皆さん、来年はあなたも歌で参加しませんか？気持ちいいですよ。

坂倉 洋



○クリスマスキャロル in タワーズライツは下記の中
部ホームページに掲載中

<http://www.ys-chubu.jp/main/05carol/carol.htm>

イギリス便り

グランパスの皆さん

新年明けましておめでとうございます。
今年もよろしくお願いいたします。

さて、05年7月より2年ぶりにまた以前いた英国の会社を拠点として仕事を始めました。

英国といえばロンドン、ロンドンの名物のひとつに赤い2階建てバスがあることはご存知の方も多いと思います。新聞記事によりますと、ロンドンでは19世紀前半から(日本はまだ江戸時代?)バスの運行が始まり、乗り切れない乗客が屋根に乗り始めたために2階建てバスが誕生したそうです。このバスは後部にドアがなく交差点などで信号でバスが止まると、自由に乗り降りでき便利で人気がありました。しかし欧州連合(EU)の安全基準に合わないということで観光用の一部を除いて、昨年12月初めからすべて新型バスに切り替わりました。新型バスも2階建てですがすべて自動ドアで、安全は確保されましたが楽しみは少し減ったような気がします。時代の要請というのでしょうか。

同じ12月イギリスのお保守党の党首選挙があり、39歳という若さのキャメロン氏が当選、翌日には議会で労働党のブレア首相と党首討論に臨みました。TVで見るとまさに若々しく、初々しい若武者という表現がぴったりの人です。ブレア首相もまだ50歳台初めで、日本の自民党の若さを象徴する安倍幹事長と同世代なので、十分に若いといえます。日本でも民主党に若い党首が誕生しましたが、大きく違うのはキャメロンさんが党首になった直後の世論調査では首相にしたい人としての支持率がブレアさんを上回っていました。若いキャメロンさんにはかなわないようです。勿論若さだけが理由とはいえませんが、変化を求める国民の気質はどこでも同じようです。若さというのは世の中の改革には不可欠の要素です。

こちらに来て仕事上多くの人に会いますが、私のような年代の人で、しかも同じ会社に40年近く働いているというような経営者層は皆無です。経営の中心は50歳前後、あるいはそれより若い人が担っています。これはそれなりに成功を収めています。最近流れが少し変わっている分野もあるように思います。特に製造業では経験、専門知識ということの重要性が再認識されており、手前味噌ですが私が

いまだに存在を許されているのもこの流れ所以であると思っています。

トヨタやホンダと言う日本の自動車メーカーの躍進と、GM、フォードの凋落が最近報じられています。短期的利益のみを追求する、行き過ぎた株主資本主義的経営と中期的なスパンで考え、比較的長い経験者が経営する日本的な経営の差が今また見直されるようになりました。かねがね私も欧米的な考えに疑問を感じていましたので、わが意を得た感じがします。然しながらこれも見方を誤ると、世代の交代や社会の変革を阻害する要因となります。やはり‘若さ’という力が年配者の退場を迫るような社会や会社でないと発展はしないことは時代が証明しています。

日本では07年に始まる団塊の世代の定年退職による、企業というよりは社会の変化がいろいろ取りざたされています。団塊の世代の上の世代である私も当然今の社会の仕組みの中では、退場をすべき年代です。退場というと何か後ろ向きの表現になりますが、これは過去の延長上に未来を考えるからではないでしょうか。過去との決別が出来るチャンス、新しい出発と考えれば見方も、気分も変わりますし、変えなければ先が暗くなります。

2006年は退場を迫る若い力の一層の台頭と、新しい未来を切り開く団塊の世代のパワーで日本の新しい時代、維新が始まるのではないかと大いに期待しています。

私事ですが、当社の欧州の拠点も4箇所に増え、それにこちらのお客さんを加えますと欧州全域にわたり、移動も大変で、自由気ままにという訳にはいきませんが、旅行好きな私にはそれなりに楽しみもあります。またこちらの人と一緒に仕事をする日本とは違った、感動、驚きもあります。

この歳になって良くぞかえてきたと昔の間には喜ばれていますが、その一方何時まで働くつもりなのか？と驚かれています。経済的な事情からすれば働かしていただける間は働きたいということになりますが、個人的にはもうそろそろ思うのが正直なところです。今の仕事に早く目処をつけて交代したいのですが、ともあれ今の状況ではもう少しこちらで働くことになりそうです。 グランパスのみなさんも是非こちらのお越しください。残り時間は余りありませんよ！

吉田一誠

YMCA 便り

2005年の年末も YMCA では、みなさまのご協力のもと、さまざまなプログラムを行うことができました。ありがとうございました。

年内には3本のスキーキャンプを行い、約100名の子どもたちが参加しました。

キャンプに先立ちスキーリーダートレーニングの理論編3回(プログラム理解、リーダーの役割、スキー指導法)、および実技を白樺高原国際スキー場にて行い、実技にはスタッフを含む21名が参加しました。この学びが年末のスキーキャンプに活かされたと思っています。



12月23日(金)に3回目を迎えた“クリスマスキャロル in タワーズライツ2005”を行いました。約100名の方々が寒風にもまげず、高らかに賛美歌を歌っていただきました。当日の様子は新聞(中日、読売)やテレビ(東海)で報道されました。又、ワイズメンズクラブ中部のホームページに、荒川さんがすばらしい掲載をしていただきました。



YMCAの会館では、ウェルネス(成人)冬のプログラム、帰国生の集中特訓プログラムおよび少年スポーツ教室、ディケアスクール(南山)などを行っています。

2006年もよろしく願い致します。

徳田

2006年 抱負

○take it easy!で、夢を現実に!!てな1年にしたいですね。松原

○『グランパスの例会出席めざせ100%』坂倉

○今年はこれしかない!「か・き・く・け・こ」を忘れずに荒川

○もうすぐ家族が増える佐藤家!今年もパワー全開でグランパスをよりいっそう楽しむぞ!佐藤

○前半はワイズ役員に没頭、後半はひと休みです。服部

○昨年は皆様にご迷惑をおかけしましてありがとうございます。今年もよろしくお祈いします。昨年の正月に「一年の計は元旦にあり」で3つの目標をたてましたが、残念ながら「年間釣行50日」の1つしか達成できませんでした。今年こそすべてを達成したいと思います。有言実行でここに述べさせていただきます。

1. 年間釣行55日
2. クラブプログラムすべて出席
3. 健康に痩せること

以上です。

仕事は適当にがんばって老後の心配のない様に今年一年みんなで元気良くがんばりましょう!

坂口

○今期、中部 EMC 主査を引き受けましてはや半年が過ぎました。

今まではクラブ活動内での役目を何度かしてきましたが、主査を引き受けまして日ごろお会いできない他の中部のクラブの EMC 活動の集計等の処理だけでも難しさを感じるこの頃ですが、後半年となりましたが任期を遂行していきます。

さて、私は今年の春ごろから体調不良が続きました、夏前は最悪の状態です。車の運転もままならない状態が続いていましたが冬になりこここのところやっと元に戻った次第です。詳しく調べても原因がわからず不安でしたが、今考えると話題の男の更年期障害なるものではあったのではと思います。

今までは仕事についても面白く、多忙であったりして気持ちは若く持っていたつもりでしたが50もすでに過ぎた体の衰えは正直であり自覚せずオーバーフローして無理をしてきた結果と思えます。

この事を契機に一大決心をしました。つまり生活を仕事中心から自分と家族中心に切り替えました。それには大きな犠牲も伴うことになりましたがあっさりあきらめました。今年からは常に自分自身の今の状態を常に考えて、無理をせず家族にも心配を

かけないようなスローライフを目指して健康で楽しい日々を過ごしていけるようにしていくことが今年からの私の抱負です。三井

神戸ルミナリエ



神戸ルミナリエに行ってきました。阪神大震災復興を祈念して始まったものですが、今年で11年目を向かえ来年は開催未定荒川

その他

1. 第九回西日本区大会関連
第1報

<http://www.ys-chubu.jp/nihonku001.gif>

大会ホームページ

<http://www.ys-chubu.jp/west/>

2. ネットDBC

新年も掲示板書き込んでください。

<http://9029.teacup.com/classy9/bbs>

3. 今月の誕生日

happy birthday

当月も該当者いません
どこかの誰かのために

congratulation!